

# 第6回工学部プロジェクトX講演会のご案内

日時： 2006年1月27日(金) 14:30 - 16:00

会場： 工学部百周年記念館

演題： クルマ好きがクルマ会社でクルマを思いっきり開発した話。

講師： マツダ(株)プログラム開発推進室所属・主査 川崎 俊介 氏

彼は、熊大在学中、自動車部でした。毎日自慢のバイクで通学していたうるさい音を出す奴でした。そしてアルケミというロックバンドをやっていました。サクソと、トランペットを吹くうるさい奴でした。

そんな彼は、広島のカルマ会社に入りました。車が好きで、いつか自分の思い通りの車を作りたいと思っていました。一生懸命働いて、勉強して設計エンジニアになり、フォードとのある関連業務でアメリカにも駐在しました。

またフォードとの共同開発で、マツダとフォードの共通プラットフォームのSUV(クロスオーバータイプのスポーツ多目的車)を開発推進するポストに就き、クルマの開発全体を責任持って推進する立場になりました。

開発リーダーとはいえクルマの開発はどんな優れた人でも一人で出来るものではなく、全開発チームの一人一人の情熱が見事に重なり合って出来ていく、この共同作業の中で、全体構図を描きながら、情報、構想を共有化し、創造し、適切な方向付け、問題解決を行っていく。そして一つのクルマの完成というゴールにたどり着く。これをガイドして行くのが役目です。

若い頃の夢、どこまでその思い、情熱を注ぎ続けることが出来るか。これが、自分自身のステップアップの為のキーだと思って頑張っています。

そんな彼の最新の仕事が、1月のデトロイトショウでデビューします。

その新車を企画段階から開発の責任者として指揮を取り、思いを遂げ、満を持して世に送り出す。この例え様もない喜びを語ります。



## 講師略歴:

1974	熊本大学工学部機械工学科卒業
同上	東洋工業(現マツダ)(株)入社
1974 - 1987	車両設計部シャシー設計グループ所属
1987 - 1997	北米マツダ出向、デトロイトオフィス勤務・Engineering Manager
1997 - 2000	マツダ本社帰任、車両開発推進部所属・設計副主査
2000 -	プログラム開発推進室所属・主査

(担当 知能生産システム工学科学科長 佐田富 道雄)